

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野

平成30年度採択テーマ 中間評価結果

(中間評価2年目)

テーマ名および概要		提案者名	評価	中間評価コメント
テーマ	久慈川を対象とした過去の治水システムが超過洪水時の氾濫被害に及ぼす影響に関する研究	東京工業大学 巖島 伶	a	・コメントなし
概要	久慈川流域を対象に、超過洪水による外水氾濫に対する浸水リスクの低減や氾濫流のコントロールを目的とし、過去に構築された治水システム(霞堤群や地先防御のための構造物、自然微地形を踏まえた居住形態)の解明とそれらが浸水プロセスに及ぼす影響を明らかにし、効果的な活用方法や保全の方策について検討する。			
テーマ	宮崎県小丸川流域における治水と生態系の総合評価のためのモデル開発	宮崎大学 糠澤 桂	b	・洪水による攪乱の影響を考慮することが望ましい。 ・生態系モデルの適用範囲や信頼性を示してほしい。 ・河川整備や河川管理への活用に向けての方向性を、明確にし、治水と生態系の総合評価について、研究を進めてほしい。
概要	宮崎県小丸川流域において分布型流出モデルを開発し、それを基礎に氾濫リスクと生物生息環境を予測するモデルを開発する。流域の上流～下流まで底生動物、魚類、付着藻類の網羅的な調査を実施する。その後、魚類と底生動物の生息場適性モデルを構築する。最終的には、気候変動下の降水量・気温を入力として、将来の外力変化に対する流域の氾濫リスクと生物生息環境の変化を単一のシステム内で予測可能なモデルを構築することを目標とする。			
テーマ	流木災害対策に資する流木資源化・利用システム開発	中央大学 松下 潤	a	・コメントなし
概要	本研究では、北上川水系(直轄6ダム)を対象として、地域における流木の資源化・利用の用途を開発し、低コストで自律的な流木管理モデルの再構築をめざす。本年度は、東北地方等の試験機関の協力のもとで亜臨界水解繊維材由来の木質飼料による肥育牛飼養試験とフルボ酸液による水稲・スギ苗木水耕栽培試験を行い、地域ニーズや価格競争性、需給バランスの分析・評価をふまえ、流木の出口確保について検討した。			
テーマ	荒川中流域の支川群を対象とした貯留効果と生態的機能の評価に基づく植生管理手法の提案	埼玉大学 田中 規夫	a	・コメントなし
概要	河道特性と洪水時の水面形の関係を明確にするため、都幾川と越辺川で台風19号時の水位を計測した。また、台風19号で堤防越流痕跡と河道内植生(GISデータ)の関係を比較した。以上より、堤防付近や低水路付近の低木・竹林は局所的な水位上昇や偏流を引き起こした可能性がある。それらの植生と生物の生息域の比較を示した。荒川水系の支川を含み水位・流量時系列を解析しつつ、樹林化した河道などの一部区間を詳細に解析可能な河川氾濫解析モデルを構築した。			

評価の凡例

- a: 研究が順調に実施されており、引き続き研究を推進する。
- b: コメントに留意の上、引き続き研究を推進する。(コメントあり)
- c: 現在までの進捗状況に鑑み、研究目的の達成が困難であるため、研究を終了する。(コメントあり)